

領域 読むこと

# お話を読んで、 しょうかいしよう

教材名「スイミー」

光村図書二年上

執筆 福岡県北九州市立白野江小学校教諭 日高慎一朗  
編集委員 文部科学省教科調査官 大塚健太郎  
福岡県北九州市立折尾西小学校校長 成重純一

## 年間指導計画

- 4 5月 じゅんじょに気をつけて読もう
  - 6 7月 ていねいに、かんたんに、まろくして、まろくしょう お話を読んで、しょうかいしよう
  - 8 9月 しもんをしっかりとくわしく考えよう
  - 10 11月 さそつたことを、真諦けきであらわそう みんなで読もうなげよう
  - 12 1月 せつめいのしかたの気をつけよう お話を書こう
  - 2 3月 だいたいなことをきかして読み分かったことを知らせよう
- 2 3月 つたえたことをあて、はつびきしょう お話で、かじったことをあそぶ

## 1 単元で付けたい資質・能力

### ①身に付けたい資質・能力

物語の内容の大体を捉えるとともに、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像する力を育成します。

### ②言語活動とその特徴

本単元では、「物語を読み、家族に向けて紹介文を書く」という言語活動を位置付けます。紹介文の内容は、「登場人物の特徴」「あらすじ」「自分の感想」で構成します。スイミーの特徴である体の色やすばしっこさを理解することは、スイミーの行動や出来事を理解するための基礎になります。あらすじを書くには、物語の内容の大体を捉えることが必要になります。時や場所を表す語句だけでなく挿絵なども手がかりにしながら、出来事の順序を把握する学習活動が展開できます。

自分の感想をなかなか書けない子供もいるでしょう。それまでに学んだスイミーの特徴や行動、出来事をふり返って考えるようにすることで、「スイミーへの憧れ」や「仲間の大切さ」など、価値ある感想をもつことができるようになります。

指導事項…(知識及び技能)(1)ク  
(思考力、判断力、表現力等)C(1)イ・エ 言語活動 イ

## 2 単元の展開(9時間扱い)

次 時

主な学習活動

次 時	主な学習活動
一 1	①レオIIレオニの作品を学級文庫として用意しておき、子供が自由に手に取って読むことができる場を設定しておく。子供がレオIIレオニに関心をもったところで、本単元のめあてと計画を決める。  単元 おうちの人に「スイミー」をしょうかいする文を書こう。
二 2～6	②③④ワークシートを活用し、「出来事」「スイミーの言動」と読む観点を焦点化し、内容を捉える。 ⑤⑥音読と動作化を通して、登場人物の行動や出来事の様子を具体的に想像する。  ▼アイデア1 ▼アイデア2
三 7～9	⑦⑧読み取ったことや自分の考えをまとめ、紹介する文章を書く。 ⑨自分の選んだレオIIレオニの本を紹介する。  ▼アイデア3



アイデア1 物語の内容の大体を捉えるためのワークシート **主体的な学び**

スイミーは、さまざまな出来事に遭遇し、その出来事に応じて気持ちに変化して次の行動をとっていきます。物語を正確に理解するためには、挿絵なども手がかりにしながら、誰が、どうして、どうなったかなどを把握することが重要になります。そのために、文章を読む観点を「できごと」と「スイミーのしたこと」に整理し、ワークシートにまとめます。

文章を読む観点を整理することで、スイミーがしたことや出来事が明確になり、物語のあらすじを捉えることができます。そうしてまとめた言葉が、音読をしたり紹介文を書いたりするときの手がかりになります。

このワークシートを見て見通しをもったりふり返ったりして、自分の学習を調整する「主体的な学び」が期待できます。

■ワークシート例

⑤	②	①	ぼめん	できごと	スイミーのしたこと
・みんなで大きな魚を、おい出した。	・おそろしい まぐろが、つっこんで、魚たちをのみこんだ。	・広い海、小さな魚のきょうだいたちが、たのしくくわして、いた。	・からす目よりも、まっくろ。	・およくのは、だれよりも、はやい。	・にげたのは、スイミーだけ。
・「ほくが目に、なるう」と言った。	・海の、そを、およいだ。				

アイデア2 想像を広げて読むための音読と動作化 **対話的な学び**

子供は、これまでの学習を通して物語の内容の大体を捉えています。ここでは、より具体的にスイミーの行動や場面の様子を想像して読むことができるように、音読と動作化を取り入れた読みの学習を行います。

登場人物の行動や会話に着目し、何をしたのか、なぜしたのかなどを具体的に思い描きながら、その世界を豊かに想像するために音読を行います。

赤い魚とスイミーとで役割を決めて音読し、表情や口調、様子を具体的にイメージしたり、行動の理由を想像したりすることができるようにします。また、音読を通して比喩表現に着目させ、「ブルドーザーみたいになって、どんないせびだろう」というように想像を広げさせます。

場面の様子を想像するための手段として、動作化も有効です。例えば、スイミーが会出现いろいろな生き物の様子を、比喩表現と結んで動作化させる方法などが考えられます。その際、挿絵を見て考える活動も取り入れましょう。「言葉」と「動作・挿絵」を往復することで理解が深まります。

音読のしかたや動作化の理由を友達に説明したり尋ね合ったりすることは、友達のを考えを受け入れて自分の考えをより豊かにする「対話的な学び」につながります。

アイデア3 既習内容から感想を導くワークシート **深い学び**

紹介文の構成を「スイミーの特徴」「あらすじ」「自分の感想」の観点の順で書くようにします。特に感想をどのように書けばよいか分からない子供のために、感想を生み出すための着眼点に気付くことができるようなワークシートを使います。

具体的には、「みんなでまとめた出来事の中から、心に残った出来事はどれですか」「音読してみても、『いいな』と思ったスイミーの行動はどれですか」と問いかけ、それに答えて書き込めるような形式にします。このことにより、子供は既習内容を活用して、よりよく課題を解決しようとする「主体的な学び」を行うでしょう。そうすると、子供は、辛いことにもくじけないスイミーの強さ、リーダーシップを発揮するスイミーの頼もしさ、みんなで協力する大切さなどに目を向けるようになるはず。

このようにして、主な出来事や登場人物の行動などを捉えることで、感想をもつ着眼点につながる「深い学び」が期待できます。

■ワークシート例

○みんなでまとめたできごとのなかで、  
「ころこのこったできごと」はどれですか。

みんなでわんしゅうして、大きな魚のふりができるようになったことです。

領域 A 話すこと 聞くこと

# いつもんをしあつて、くわしく考えよう

教材名「あつたらいいな、こんなもの」

光村図書二年上

執筆 福岡県北九州市立藍島小学校教諭 高口和樹  
編集委員 文部科学省教科調査官 大塚健太郎  
福岡県北九州市立秋ヶ丘小学校校長 内川龍生

## 年間指導計画

- 4/5月 じゅんじょに気をつけて読もう  
ていねいにかきうつして、きょうくしやう
- 6/7月 お話を読んで、しようかいしよう  
いつもんをしあつて、くわしく考えよう
- 8/9月 読んで考えたことを話そう  
そうとしたことを、音読げきあわをう
- 10/11月 みんなで話をつなげよう  
せつめいのしかたに気をつけて書こう
- 12/1月 まとまりに分けて、お話を書こう  
だいいなことはに気をつけて読み分かったことを知らせよう
- 2/3月 つなぐたいごをきめて、はびましよう  
読んで、かんじたことをつたえ合おう

## 1 単元で付けたい資質・能力

### ①身に付けたい資質・能力

話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつ力を育成します。

### ②言語活動とその特徴

本単元では、「あつたらいいなと思うものを絵に描いて、友達と質問をし合うことにより自分の考えを詳しくする。そして友達と発表し合い、感想を伝え合う」という言語活動を位置付けます。

ここではまず、相手の話を聞いて、質問をするという言語活動があります。この活動を通して、子供は二つの聞き方を学びます。一つ目は、話し手が自分に知らせたいことは何かを考えながら聞くことです。そのためには、事柄の順序を意識しながら、話の内容を把握することが大切になります。二つ目は、自分にとって大事なことや知りたいことを落とさずに聞くことです。そのためには、自分の聞きたいことを明確にして話を聞くことが大切になります。

次に、友達に自分の考えたものを発表し、感想を伝え合う言語活動があります。この活動を行うため、話の内容に対して、自分が興味をもったところや感心したところなどを伝え合うことから始め、できれば自分の体験と結びつけるなどして感想が言えるようになるでしょう。

## 2 単元の展開（8時間扱い）

指導事項：（知識及び技能）（1）キ

（思考力、判断力、表現力等）A（1）E 言語活動 A

### 次 時 主な学習活動

①教科書の挿絵を見てできることやどんなときに使うのかを考え、あつたらいいものについて想像をふくらませ、「あつたらいいな、こんなものはつびよう会をひらこう」を設定して学習計画を立てる。

学習課題 「あつたらいいな、こんなものはつびよう会をひらこう」

② 「あつたらいいなと思うもの」を考えて絵に描く。

③ 質問のしかたを確かめ、発表のしかたも確かめる。

④ 一人ペアで「あつたらいいなと思うわけ」「はたらき（できること）」「形や色、大きさ」などについて質問し合う。

⑤ 質問と答えの内容を全体で交流し、詳しく聞くために気を付けることを確認する。

⑥ ペアを交代してもう一度質問する。

⑦ 4〜5人のグループごとに発表会を開く。

⑧ 「話し手」「聞き手」のそれぞれについてふり返りをする。

三	二	一
8	2～7	1

アイディア1 質問のしかたや発表のしかたを確認するための教科書動画の活用

対話的な学び

本単元は話し手が発表しているときに質問や感想を伝える学習内容になっています。そこで質問事項を5つ（理由、働き、形、色、大きさ）示し、これらのほかにも質問があれば、聞くようにします。そして実際にペアで質問を合います。そのあと、教科書に載っているQRコードを読み取り、質問している動画を見せます。そこでは教科書に載っている質問以外の質問や聞き手の感想、話し手の意見を引き出すテクニクなどを見ることが出来ます。動画を見た後で、はじめに自分たちだけで行った質問や感想を改善するためにはどうすればよいかを二人で話し合います。

このとき、質問や感想の言葉が変わったときには、なぜそのように変わったのかをペアの相手に伝えたり、わからなければ尋ねたりします。変わらない場合でも、なぜ変わらなかったのかを伝えます。このような話し合いが、自分の考えを広げ、深める「対話的な学び」につながります。

動画を見て、自分の質問や感想をこのように変えてみようとか、考えた人はいますか

動画では、友達の説明を聞いた後、感想を言って、質問をしていたのがとてもよかったので、自分もそうしようと思いました

発表している人は悩んでいることがあったら友達に聞いていたから、私も決まっていたことがあったら聞いてみよう



アイディア2 学びの深化を実感させるふり返りの工夫

深い学び

本単元では、あったらよいと思うものについて交流する機会が多く設定されています。1回目は、質問や発表のしかたを確かめた後に交流するとき、2回目は、1回目の交流をふり返り、話し手と聞き手が気を付けることを学習した後交流するとき、最後に発表会を開いたときと3回あります。例えば、1回目と2回目で、わけの説明の言葉をより分かりやすいように変えるとしたら、どの言葉に変えるか、また、より相手の考えを引き出す質問にするために言葉を変えたらどうするかを常に意識させながら、考えさせるようにします。そうすることで、いつも言葉を意識し、どの言葉を使えば相手に伝わるかを考えるようになり、「深い学び」につながります。

あったらいいな、こんなもの

名前 ( )

● どうくについて、くわしく考えたことを、わけ「できること」形や色、大きさ」に分けて、みじかく書いておきましょう。

「わけ」

「できること」

形や色、大きさ

ふりかえり

1. つぎの中で話を聞いているときにできたこととありますか。できたものを対かこみましょう。
2. どんなことを友だちに言ったり聞いたりできましたか。

- ・おもいっきり思ったことを友だちに言えた。
- ・しりたいてい思ったことを友だちに言えた。
- ・わづらひたことを友だちに言えた。
- ・分からないことを友だちに聞いた。

アイディア3 主体的な対話へ導くタブレット

主体的な学び

質問と答えの内容を全体で交流し、詳しく聞くために気を付けることを確認する学習時には、子供の実際のやり取りを基に交流するのが効果的と思われます。そこでタブレット端末やボイスレコーダーなどを使い、話合いの様子を動画や音声で記録しておきます。タブレットやボイスレコーダーで記録すると、自分で何度も再生でき、自己の学習をふり返る大きな手がかりとなります。また、タブレットだと、大型テレビを使い、クラス全体で動画を共有できます。使いこなしてくると、休み時間などでも自分たち同士で記録し合うことができたり、次回の学習にも活用できそうだと自信をもったりしてきます。

このようにすることで、自分の学習を調整する「主体的な学び」につながります。

どうしてAさんとBさんの話し合いは上手に聞こえるのかな

もう一度、タブレットで見てもうよ。何か分かるかもしれない

タブレットでふり返ると、友達や自分の様子がよく分かるね。もっとタブレットで、記録してみようよ

教科書の動画と自分たちの動画をもう一度、比べてみようよ。どこが違うのかな。どうすれば、もっとうまくいくかな

タブレットは便利だね。次の学習にも使えそうだね。次も使えるように、先生に頼もうよ



# 100より大きい数をしらべよう

執筆：神奈川県横浜市立大綱小学校教諭 小島政博  
 編集委員：文部科学省教科調査官 笠井健一  
 島根県立大学教授 齊藤一弥

## 年間指導計画

- 4/5月 たし算のしかたを考えよう  
長さははかってあらわそう
- 6/7月 100より大きい数をしらべよう  
時計を生活に生かそう
- 8/9月 ひっ算のしかたを考えよう  
さんかくやしかくの形をしらべよう
- 10/11月 新しい計算を考えよう  
九九をつくろう
- 12/1月 1000より大きい数をしらべよう  
長い長さははかってあらわそう
- 2/3月 分けた大きさのあらわし方を考えよう  
はこの形をしらべよう

## 本時のねらいと評価規準 (本時3/12時)

- ねらい** おはじき(○)を並べて、数を表すことを通して、3位数の位取りのしくみや数の構成についての理解を深め、数のまとまりに着目して数の相対的な大きさを捉えることができる。
- 評価規準** 10や100のまとまりに着目し、十進位取り記数法のしくみを考え表現したり、数を相対的な大きさから捉えたりしている。

### もんだい

おはじき(○)をつかって、235をあらわすにはどうしたらよいでしょうか。



- T：おはじき(○)を使って、235を表すには、どうしたらよいでしょうか。ノートに○をかいて表してみましょう。
- C：数が足りません。おはじき(○)が235もないので、できないと思います。
- C：色を変えてもよいですか。
- C：お金と同じように考えて、100円玉、10円玉、1円玉と考えたら、できるんじゃないかな。
- C：同じおはじきでも見方を変えればできると思います。

学習のねらい | おはじき(○)を使って、235のあらわしかたをせつめいしましょう。

## 見通し



おはじき(○)1つを1・10・100と見て考えると、少ないおはじき(○)で、235を表すことができます。



わざわざ色をぬらなくても、位ごとに並べれば、もっと大きな数でも表すことができます。

## 自力解決の様子

### A つまづいている子

おはじき(○)が235個ないので、手が止まってしまっている。

### B 素朴に解いている子

おはじき(○)に色をぬり、少ないおはじきで表そうとしている。

### C ねらい通りに解いている子

百の位(左)に○を2個、十の位(中)に○を3個、一の位(右)に○を5個かいている。

## 学び合いの計画

おはじき(○)1つをいくつと見るかによって、表現方法は多様となります。本単元では、数の相対的な見方を育てていくことが大切です。本時では、色によって、○1つの大きさの違いを表現することから、位ごとに○を置くことで、数を捉えやすくなり、さらに数が大きくなっても同じように表現できるよさに気付かせましょう。

さらに、400をおはじき(○)で表すと、百の位に○を4個並べます。○1つを1と見れば400個必要ですが、100とみれば4個で足り、10とみれば40個必要になります。このように位取り板を活用しながら、数の相対的な大きさの理解を深めていきましょう。



# 時計を生活に生かそう

執筆：神奈川県横浜市立西富岡小学校主幹教諭 純岡尚史  
 編集委員：文部科学省教科調査官 笠井健一  
 島根県立大学教授 齊藤一弥

## 年間指導計画

- 4/5月 たし算のしかたを考えよう  
長さははかってあらわそう
- 6/7月 100より大きい数をしらべよう  
時計を生活に生かそう
- 8/9月 ひっ算のしかたを考えよう  
さんかくやしかくの形をしらべよう
- 10/11月 新しい計算を考えよう  
九九をつくろう
- 12/1月 1000より大きい数をしらべよう  
長い長さははかってあらわそう
- 2/3月 分けた大きさのあらわし方を考えよう  
はこの形をしらべよう

## 本時のねらいと評価規準 (本時 1 / 2 時)

- ねらい** 時計の短針や長針の動きを調べることを通して、「時刻」「時間」の意味や、時、分の関係を理解する。
- 評価規準** 時間の単位に着目し、時刻や時間の意味や、1時間＝60分の関係を操作と関連付けて説明することができる。

### もんだい

友だちと日よう日に、こうえんであそぶやくそくをしています。家を9時に出て、こうえんのとけいが9時15分にまち合わせをすることにしました。友だちから、「長いはりともじかいはりがどこをさせば9時15分なの？」とたずねられました。(模型時計と時計盤を書いたプリントを配付)



プリントに短い針と長い針をかきましょう。

- C：長い針は9で、短い針は3になるよ。
- C：反対だよ。短い針が3で、長い針が9だよ。  
(既習を想起し、長針・短針の約束を確認)
- C：短い針は、9と10の間だよ。
- T：本当ですか。
- C：模型時計を使ってやったら、そうでした。
- C：短い針は、時を表すから9を指すはずですよ。
- T：本当に9と10の間にくるのか確かめましょう。
- C：どうして、短い針は9と10の間なのかな。

### 見通し



短い針が時を、長い針が分を表すよ。【方法の見通し】



模型時計を使えば、時刻を求められるよ。【解決の見通し】

学習のねらい | 模型時計を操作して、短針と長針には、どんなきまりがあるか調べよう。

## 自力解決の様子

### A つまづいている子

短針と長針の位置が逆になっている。



### B 素朴に解いている子

短針が9を指し、長針が3を指している。



### C ねらい通りに解いている子

短針が9と10の間を指し、長針が3を指している。



## 学び合いの計画

時計の読み方については、第1学年で「何時」「何時半」の時計の読み方を学習しています。また、日常生活でデジタル時計をよく目にしています。

しかし、アナログ時計の読みや、時刻と時間の関係の理解は、子供にとって難しい内容です。

時刻は時の流れの1点を示し、時間は時刻と時

刻の間の大きさの量であることを子供が捉えることが困難なためでしょう。

そこで、子供にとって身近な待ち合わせの文脈

を設定したり、数直線を用いて時間を視覚化したることで、時間への理解を深められるようにしましょう。

## ノート例



7月12日(月)  
くもんだい)

長いはりともじかいはいりがどこをさせば、9時15分?

長いはり 9  
みじかいはり 3

9と10のあいだ

長いはりともじかいはいりには、どんなきまりがあるのだろう。

〈分かったこと〉

- 長いはりが1しゅうすると、みじかいはりが1すすむ。
- 60めもりがある。
- 1時間=60分
- みじかいはいりも少しすつうごく。

時こく 9時 時間 15分

時こく 9時15分

家を出た時こく

待ち合わせの時こく

時こくと時こくの間が時間

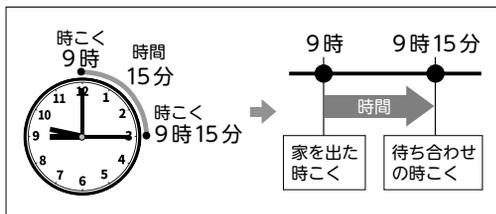
長さみたい

〈ふりかえり〉

時こくと時間のちがいが分かるようになった。

日が表をまもれていないことがあるので、これからは時間にまにあうように行きたいと思います。

## 全体発表とそれぞれの考えの関連付け



- T:なぜ、短い針は、9と10の間にあるのですか。  
C:短い針も一緒に動いているからです。  
C:長い針と短い針は、関係しているからです。  
T:模型時計で長針と短針のきまりを調べましよう。

- C:長い針が動くとき、短い針も動いています。  
C:9と10の間に5この目盛りがあります。  
T:長い針が一回りするのに、目盛りはいくつですか。  
C:全部で、60目盛りあります。  
C:1時間は、60分間になります。  
C:15分は、15目盛りの場所にあればよいです。  
T:時計の目盛りをまっすぐ伸ばすと、15分間は、どこからどこまでですか。  
C:時間は、9時から9時15分までの長さです。  
C:時刻が点で、時間が長さみたいです。

## 学習のまとめ

本時は、短針や長針の動きを調べ、模型時計の操作や数直線と関連付けることで、時刻や時間の関係を理解できるようにします。また、学校生活の日課表と結び付けることで、今後の生活改善に生かしていきますましよう。

評価問題	子供に期待する解答の具体例	日課表	本時の評価基準を達成した子供の具体の姿																		
学校の日課表を見ながら、お昼までの活動の始まりの時刻と終わりの時刻、活動の時間を、模型時計を使って、友達に説明ましよう。	朝の会の始まりの時刻は8時15分で、終わりの時刻は8時25分です。活動時間は、10分間です。	<table border="1"> <tr><td>朝の会</td><td>8:15~8:25</td></tr> <tr><td>朝の活動</td><td>8:25~8:40</td></tr> <tr><td>1校時</td><td>8:45~9:30</td></tr> <tr><td>2校時</td><td>9:35~10:20</td></tr> <tr><td>太陽の時間</td><td>10:20~10:40</td></tr> <tr><td>3校時</td><td>10:45~11:30</td></tr> <tr><td>4校時</td><td>11:35~12:20</td></tr> <tr><td>給食</td><td>12:20~13:05</td></tr> <tr><td>昼休み</td><td>13:05~13:25</td></tr> </table>	朝の会	8:15~8:25	朝の活動	8:25~8:40	1校時	8:45~9:30	2校時	9:35~10:20	太陽の時間	10:20~10:40	3校時	10:45~11:30	4校時	11:35~12:20	給食	12:20~13:05	昼休み	13:05~13:25	日常の場面について、模型時計を用いて、時刻や時間の説明することができる。
朝の会	8:15~8:25																				
朝の活動	8:25~8:40																				
1校時	8:45~9:30																				
2校時	9:35~10:20																				
太陽の時間	10:20~10:40																				
3校時	10:45~11:30																				
4校時	11:35~12:20																				
給食	12:20~13:05																				
昼休み	13:05~13:25																				

## 感想例

- 時刻と時間が分かるようになったので、これからは時間に間に合うように行動したいと思います。
- 時計は、長い針が動くとき短い針も動くので、短い針をよく見ると、だいたい時刻まで分かります。

# 町ですてきを見つけよう

執筆：愛知県岡崎市立北野小学校教諭  
編集委員：前・文部科学省教科調査官  
文部科学省教科調査官／愛知淑徳大学准教授  
愛知県豊橋市立豊小学校校長

高屋有花  
渋谷一典  
加藤 智  
稲田あけみ

## 年間指導計画

- 4/5月 どんな二年生になろうかな  
おいしくなあれ！ ぼく・わたしの野菜
- 6/7月 町ですてきを見つけよう  
生きもの なかよし 大作せん
- 8/9月 わくわくおもちゃ大作戦  
公園のヒミツを探れ！
- 10/11月 冬野菜を育てよう～大根マスターにチャレンジ～  
いいとこ見つけた ぼく・わたしの町
- 12/1月 はっけんわくわく 町のおたから  
たいせつに育てるよ！ 小さな友だちモルちゃん
- 2/3月 みつけよう すてきなじぶん  
ありがとうをとどけたいな

## 期待する子供の姿

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
地域の自然や人と関わる活動を通して、身近な自然の移り変わりや自分たちの生活が、身近にいるたくさんの人々に支えられていることに気付く。	地域の自然や人と関わる活動を通して、通学路の自然やそこで生活したり働いたりしている人、それらが自分とどのように関わっているかについて考えることができる。	地域の自然や人と関わる活動を通して、それらに親しみや愛着をもち、適切に接しようとする。

## 単元の流れ (10 時間)



みんなの通学路には、どんな「すてき」があふれているかな？



歩道橋は景色がいいし、学校も見えるよ。



僕も行ってみたいな。

### 学習の流れ

#### ○自分の通学路にある「すてき」を見付けよう (3時間)

##### ①家から学校まで【1時間】

通学路には、どんな「すてき」があったかな？ 思い出して書いてみよう。



毎日見ているはずなのに、思い出せないよ。



じっくり見たい！



##### ②学校から家まで【1時間】

タンポポが前はなかったのに、今はたくさん咲いているね。



明日、クラスの子にも教えてあげたいな。



すてきがたくさん見付かった！

##### ③授業参観後、保護者とともに学校から家まで【1時間】

お家の人と一緒に「すてき」見付けよう。

- ・保護者に、事前に協力をお願いをしておく。

この花壇は、いつも〇〇さんがお世話してくれているよ。

#### ○クラスみんなで通学路にある「すてき」を見に行こう (2時間)

- ・クラス全員で見に行きたい通学路にある「すてき」を決める。
- ・クラス全員で決めた目的地へ行く。
- ・熱中症対策を十分に行い、移動時間などを考慮する。

#### ○自分の通学路にある「すてき」を紹介しよう (4時間)

- ・90cm×15cmほどの大きな紙に、今までの探検をまとめた「道カード」を作る。
- ・学校を中心にした学区の大まかな地図を教師が事前に作成し、4分割しておく。
- ・4分割した地域ごとに、子供が作った「道カード」を貼り付け、地域ごとに通学路の「すてき」を発表する。
- ・4分割していた地図を合体させ、クラスで1つの大きな地図を完成させる。
- ・大きな地図を眺めながら、全員の前で自分の通学路の「すてき」を発表する。

#### ○「すてき」ナンバー1を紹介しよう (1時間)

- ・自分が1番だと思う地域の「すてき」を選び、紹介する。

### 評価規準等

**態** 自分の通学路の様子を思い起こし、場所や人、自然への関心や期待をもちながら、それらと繰り返し関わろうとしている。

**知** 通学路にはさまざまな場所や人、自然があり、季節ごとの変化があることに気付いている。

**思** 通学路で見付けたさまざまな「すてき」をふり返り、表現している。

**知** 地域にはさまざまな「すてき」があることに気付いている。

**思** 通学路で見付けた地域の「すてき」について、友達と交流している。

**知** 地域には自分たちを支えてくれる人々がたくさんいることに気付いている。

**思** 地域の「すてき」と自分との関わりについてふり返り、表現している。

**態** 地域の自然や人のよさを実感し、地域への親しみや愛着を深めている。

※評価規準等の **知** = 知識・技能、**思** = 思考・判断・表現、**態** = 主体的に学習に取り組む態度の観点を示しています。

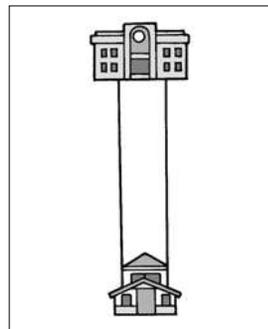
## 活動のポイント1 カードを工夫して、多くの気付きを引き出しましょう。

ふだん何気なく通る通学路にどんな「すてき」があるのか、関心をもてるようにしたいものです。そのためには、正確な地形にこだわらず、自由に気付きを書けるように、「道カード」を工夫するとよいでしょう。

### ○道カードの工夫

- 家と学校までの道は、直線にします。  
右左折などに関係なく、気付きをたくさん書くことができます。
- 直線の左右に大きくスペースをとります。  
通学路に隣接したものだけでなく、そこから見える遠くの物への気付きも書けるようになっています。
- 書く前に、道カードを半分に折って折り目を付けます。  
家と学校との中間地点を示すことで、書くときの目安になります。

道カードの例



## 活動のポイント2 発表教具を工夫して、地域を自分との関わりで捉えられるようにしましょう。

「分身ペープサート」を使うと、ペア・グループ・クラス全体発表時に子供自身の分身が大活躍し、自分との関わりが見えてきます。ペープサートが地域の人との関わりも促し、インタビューの練習にもなります。

### ○分身ペープサート

#### 《材料》

- はがきサイズくらいの紙（2枚）
- タピオカ用ストロー（1本）

#### 《作り方》

- ①紙2枚に自分の分身の絵を描きます。
- ②紙の中心に、ストローを固定します。  
※上下からはみ出るストローの長さは同じくらいにします。
- ③もう一枚の紙で挟み、ペープサートを作ります。

#### 《活用》

ペープサートの上下に指示棒をさし込むと活用の方が広がります。



学区の花壇のお世話をいつもしてくれて、ありがとうございます。



どういたしまして。



※発表時は道カードや大きな地図上を子供の分身が歩き、地域の人との関わりを再現できます。

## 評価のポイント この単元で特に重点をおきたい資質・能力を取り上げています。

（思考・判断・表現） 地域の「すてき」と自分との関わりについてふり返り、表現している。

### ●こんな場面で見とりましょう

#### ○「道カード」作りの過程 見付ける 比べる

前に友達が見付けたすてきが、僕の通学路にもあったよ。



- 「道カード」を書く経験（全4回）を重ねるごとに、「すてき」の量や質が高まっている。
- ほかの季節との比較にも目が向いている。

#### ○発表の様子 伝え合う 比べる

- 「誰が」「どこで」「いつ(どの季節と比べて)」 「何を見付け」「どう思ったか」を自分の言葉で伝えている。
- 自分と友達の気付きの共通点や相違点を見いだしている。

### ●困っている子供にはこんな支援をしましょう

#### ○「すてき」見付けの着眼点を提示

建物 自然 人  
遊び場 物  
を探してみましょう。



#### ○発表時のスタートとゴールのせりふを指定

家を出ました。



学校に着きます。

- 話し始めのきっかけを与え、安心感を生み出す。

※学習活動の実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症に関わる各自治体の対応方針を踏まえるなど、子供の安全の確保に向けて十分配慮する必要があります。

# 生きもの なかよし 大作せん

執筆：愛知県豊田市立畷部小学校教諭  
 編集委員：前・文部科学省教科調査官  
 文部科学省教科調査官／愛知淑徳大学准教授  
 愛知県豊橋市立豊小学校校長

中田英子  
 渋谷一典  
 加藤 智  
 稲田あけみ

## 年間指導計画

- 4/5月 どんな二年生になろうかな  
おいしくなあれ！ ぼく・わたしの野菜
- 6/7月 町ですてきを見つけよう  
生きもの なかよし 大作せん
- 8/9月 わくわくおもちゃ大作戦  
公園のヒミツを探れ！
- 10/11月 冬野菜を育てよう～大根マスターにチャレンジ～  
いいところ見つけた ぼく・わたしの町
- 12/1月 はっけんわくわく 町のおたから  
たいせつに育てるよ！ 小さな友だちモルちゃん
- 2/3月 みつけよう すてきなじぶん  
ありがとうをとどけたいな

## 期待する子供の姿

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
生き物を観察したり世話をしたりする活動を通して、生き物には生命があることや、適した環境や世話のしかたがあることに気付く。	生き物を観察したり世話をしたりする活動を通して、それぞれの生き物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができる。	生き物を観察したり世話をしたりする活動を通して、生き物に関心をもち、親しみをもって大切に育てようとする。

## 単元の流れ (22 時間)



学校で飼ってみたい生き物はいかな？



泳いでいるところが  
見たいから、メダカ  
を飼ってみたいな。



はさみがあってかっこいいから、  
ザリガニがいいな。学校のビオ  
トープにたくさんいるよ。

### 学習の流れ

#### ○身近にいる生き物を探してみよう (3時間)

#### ○川で生き物を捕まえよう (4時間)

近くの川で、生き物を探してみましょう。

地域の講師さんに捕まえ方を教えてもらったよ。

#### ○長く飼うためにはどうしたらよいのかな (4時間)

どうして死んじゃったのかな。

水がいけなかったのかな。

2匹一緒に入れたのがいけなかったのかな。

#### ○生き物マスターをめざそう (2時間)

どうやって飼ったらいいのかな。

生き物マスターさん、  
僕の生き物の元気がないのはどうしてですか。



えさは何かな。図鑑で調べてみよう。

#### ○「にっこにこハウス」をつくらう (2時間)

捕まえた場所を思い出して考えるよ。

生き物がにっこにこになるすみかづくりをしましょう。

川には草があったから、水草を入れたいな。



石を入れて、隠れられる場所をつくらうかな。

#### ○「にっこにこ水族館」を開き、一年生を招待しよう (5時間)

クイズを出したら楽しんでもらえるかな。



タッチコーナーをつくって触れるようにしたらどうか。

えさは、にぼしをたくさん食べるよ。



#### ○「元気でいてね」今まで飼っていた生き物をどうするか考えよう (2時間)

ずっと世話をしてきたから、これからも飼いたい。

教室で協力して飼いたい。卵を産んで赤ちゃんが育つかも说不定。

せまい所で飼うより捕まえてきた所に返したほうが、生き物にとって幸せかもしれない。

### 評価規準等

● 態 生き物に関心をもって関わろうとしている。

● 思 生き物の特徴や生き物がいる場所を意識しながら、育ててみたい生き物や採集方法を選んだり決めたりしている。

● 知 それぞれの生き物に合った世話のしかたがあることに気付いている。

● 態 生き物の変化や成長の様子に関心をもち、毎日のえさやりなどの世話をしている。

● 思 生き物の立場に立って関わり方を見直ししながら、世話をしている。

● 思 それぞれの生き物がすんでいた環境をもとにして、生き物にとって暮らしやすいすみを考え、材料を準備している。

● 態 生き物の特徴、育つ場所、変化や成長の様子に応じて世話をしようとしている。

● 思 毎日の観察や世話を通して、発見したことを工夫して伝えている。

● 知 世話が上手にできるようになった自分自身の成長に気付いている。

● 思 育ててきた生き物のことや心を寄せて世話をしてきたことなどを振り返り、生き物の立場に立って表現している。

● 態 生き物に親しみや愛着をもち、生命あるものとして関わろうとしている。

※評価規準等の●=知識・技能、●=思考・判断・表現、●=主体的に学習に取り組む態度の観点を示しています。

## 活動のポイント1 飼育活動への意欲が継続する工夫をしましょう。

### ○生き物に関心が向くような場の設定

生き物は、大半の子供にとってはとても魅力的です。一方で、苦手意識をもっている子もいます。まずは、生き物に関心を向けることから始めましょう。生き物が題材の絵本や図鑑、生き物に詳しい作家の本を揃えて学級文庫に置いたり、学校司書と連携して生き物本コーナーを設置したりして、いつでも気軽に読める工夫をしておくといよいでしょう。また、飼育場所は、教室など身近な場所にしましょう。ちょっとした変化に気がつきやすく、興味も増します。

### ○愛着をもたせる工夫

生き物は自分たちと同じ命があることに気づき、責任をもって世話ができるよう、一人1飼育とします。採集活動で、自分で捕まえた生き物を育てることで、より親しみが増し、活動意欲が高まります。

えさだよ。あれ？  
様子が変だぞ。



### ○観察や世話で生き物マスターを目指す

飼育活動では、授業だけではなく、毎日、生き物の様子や自分が世話したことを記録していきましょう。成長の様子や変化が分かります。記録を蓄積していくことで、脱皮や変態することなどで、脱皮や変態することなどで、生き物によって成長のしかたが違うことに気づき、生き物への興味関心が高まります。

また、「修行中」から「生き物マスター」へレベルアップする仕組みなど、子供たちが楽しみながら活動できる工夫を取り入れるのもおすすめです。

私のザリくん、元気がないと思ったら脱皮したよ。



## 活動のポイント2 地域の特性や地域の人、友達との関わりがもてる活動をしましょう。

### ○地域性を生かして

自然に恵まれた地域であれば、その特性を生かし、安全を確認したうえで近くの川で生き物探しをするのがおすすめです。実際に川に入って行う活動は子供を夢中にさせます。近くに安全に活動できる場所がなければ、学校のビオトープやプールを活用するとよいでしょう。身近な場所で、自分で捕まえた生き物を飼うことが、子供たちの意欲を育み、責任をもって大切に飼うこと、命と向き合うことへとつながります。

### ○地域の人や友達との関わり

#### ・地域講師を迎えて

生き物に詳しい地域講師の方がいたら、一緒に活動してもらいましょう。生き物について楽しく紹介してもらったり、川遊びの体験を話してもらったりすることで、子供たちの意欲が高まることでしょう。飼育中の悩みに対してアドバイスをってもらうことで、生き物への関心をさらに高めることもできます。



#### ・生き物掲示板の設置

分からないことや知りたいことをつぶやいたり、見てほしい自慢を書いたりする掲示板を設置することで子供同士の関わりも生まれます。友達の疑問に答えたり、調べてアドバイスをしたりすることで、友達の生き物と比べ、同じところや違うところに目を向けられるきっかけにもなります。また、成長の違いや特徴について意見交換することで気付きも生まれます。観察時に大きな変化があったときには写真を撮り掲示することで、育ててきたことへの自信にもつながります。



### ○生き物の命を考えるために

#### ・「にっこにこ水族館」の場面で

大事に飼っているからあまり触らせたくないなあ。



触らなくても紹介する方法はないかな。水族館はどんな工夫をしているかな。

大切に世話してきたからこそ葛藤を認め、称賛したうえで、水族館での展示方法などを紹介するとよいでしょう。

#### ・「元気でいてね」の場面で

「にっこにこ水族館」の後、今まで大切に飼ってきた生き物をこの後どうするか、子供たちが培ってきた自然への知識と生き物への感情が入り混じるなか、自己決定を迫られる場面です。子供たちの自然観や生命観を確かにする大切な場面になります。一人ひとりの思いを大切に、今までの生き物との関わりから、それぞれが根拠を明らかにして自己決定できるよう支援したいものです。

## 評価のポイント 生き物を観察したり世話をしたりする活動を通して、生き物に関心をもち、親しみをもち大切に育てようとしている。

### ●こんな場面で見とらしましょう

#### ○飼育活動の様子

川の様子を思い出して、すみかをつくったよ。



#### ○観察カード

えさを全然食べないの。心配ね。



#### ○全体での交流

何がいけないのかなあ。  
水が濁っているよ。



#### ○友達との伝え合い

えさをあげすぎると、残った餌が腐って水が濁るよ。

## てつぼうランドでおさるのお話大ぼうけん

### 器械・器具を使つての運動遊び (鉄棒を使った運動遊び)

執筆：滋賀県大津市立平野小学校教諭 大崎聖子  
編集委員：国立教育政策研究所教育課程調査官 塩見英樹  
滋賀県大津市立瀬田東小学校校長 内藤康司

### 年間指導計画

- 4/5月 走・跳の運動遊び(走の運動遊び)  
器械・器具を使つての運動遊び(固定施設)
- 6/7月 器械・器具を使つての運動遊び(鉄棒)  
水遊び
- 8/9月 体つくりの運動遊び(体ほぐし)  
走・跳の運動遊び(跳の運動遊び)
- 10/11月 ゲーム(鬼遊び)  
器械・器具を使つての運動遊び(跳び箱)
- 12/1月 ゲーム(ボールゲーム)  
表現リズム遊び
- 2/3月 器械・器具を使つての運動遊び(マット)  
ゲーム(ボールゲーム)

### 授業づくりのポイント

低学年は、ジャングルジムや雲梯などの固定施設で体を動かしながら遊ぶことで、基本的な動きを身に付けていきます。

そこで、遊びの要素を取り入れ、成功体験を得やすいように場の設定を工夫していくことが大切です。

また、鉄棒を使った運動遊びでの回転や支持、逆

さの姿勢、ぶら下がり、振動などの基本的な動きや技能は、一見すると怖さや難しさを感じる動きですが、下に紹介するように動物になったり、お話の言葉に合わせたりして運動できるようにしていくことで、楽しく学習を進めていくことができます。

### 楽しもう ～みんなでお話を楽しもう！～

単元前半では、「てつぼうランド」という場を設定し、どの子供も「楽しそう」「やってみたい」と運動遊びの楽しさに触れられるようにしていきます。下に示すように、みんなで「さる」になりきったり、「腕支持」「振

動」「回転」の3つの場に分け、「お話の言葉」に合わせたりして、楽しみながら挑戦できるようにしていきます。はじめは1人で行き、慣れてきたらペアで動きを合わせるなど、活動の工夫をしていきましょう。

### てつぼうランドでチャレンジタイム ～みんなでおさるになろう～

#### ぴたっとランド

##### ●休けい

手足をぎゅっと!



##### ●足ピン

背中もピン!



##### ●ぎゅっとちぢんで

ぎゅっと腕を曲げよう!



#### くるっとランド

##### ●足ぬきまわり



ぶら下がったまわると!

##### ●地球まわり



足をかけてくるっと!

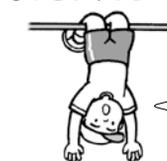
##### ●前まわり



ピン!(背中)  
くるっと!(回転)  
とん!(着地)

#### だら～んランド

##### ●ひざかけぶら～ん(こうもり)



力をぬいて  
「だら～ん」  
「ぶら～ん」

##### ●だら～ん



##### ●片手で地面タッチ



#### お話てつぼう

##### ★跳び上がり

とんとんジャンプ



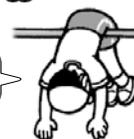
##### ①足ピン

足をピンと



##### ②だら～ん

お腹でぶら～ん、イチニサンシゴ



##### ③前まわり

ゆっくり下りるよ。クルーンびたつと



#### 安全に行うための場の工夫

- ①待つ場所の明示
- ②安心して運動を行う場の工夫



待機線



マット

#### <よい動きを共有するための教師の言葉がけ>

よい動きをイメージしたり、共有したりするために、大きく、小さくという言葉だけでなく、具体的なイメージをもてるような言葉がけの工夫をしていきましょう。

- ※力を入れよう⇒胸をはって
- ※大きくふるう⇒つま先を遠くにしよう
- ※体を丸めよう⇒ボールのように小さくならう

# 単元計画

時間	1	2	3	4	5
学習課題	鉄棒に慣れよう	鉄棒遊びでできる遊びを増やしていこう		動きを組み合わせペアでお話を楽しもう	
0分	<b>●オリエンテーション</b> ・鉄棒の約束 ・学習の進め方(安全に関する確認) <b>●鉄棒遊びを楽しもう</b> 「さる」になりきっているいろいろな動きを試してみよう。 [びたっと] ・足ピン ・休けい ・ぎゅっとちぢんで [ぶら〜んと] ・ひざかけぶら〜ん ・片手で地面タッチ ・だら〜ん [くるっと] ・前まわり ・地球まわり ・足ぬきまわり	<b>●ウォーミングアップ</b> ・準備体操 ・固定施設を使った運動遊び(ジャングルジム・雲梯・登り棒など) ○学習課題をたしかめよう <b>●てつぼうランドでチャレンジタイム</b> [びたっと] [ひざかけぶら〜ん(こうもり)] [くるっと] ・ペアでできる遊びに取り組もう。 (動きを合わせて・じゃんけん) <b>●「お話てつぼう」にチャレンジしよう</b> 教師の言葉に合わせて鉄棒遊びに挑戦してみよう。 <b>●みんなで遊ぼう</b> できるようになった遊びをしよう。 ・こうもりじゃんけん ・連続前回りなど		<b>●お話をつなげてチャレンジしよう</b> ★跳び上がり+3つの動きを選んで試してみよう。 ・ペアで選んだ動きに合ったお話を考えよう。 ・お話に合わせてつなげてみよう。 <b>●「てつぼうランド」でお話てつぼう発表会</b> ペアで作ったお話を発表し合い、よい動きを見付けて友達に伝えよう。	
45分	●ふり返り			●ふり返り	
	運動を楽しもう			もっと運動を楽しもう	

## もっと楽しもう ～動きを組み合わせペアでお話を楽しもう～

単元の後半では、身に付けた動きをつなげてお話をつくり、ペアで楽しめる場を設定します。

選んだ動きをペアの友達にお話ししながら見てもらうことで、楽しく運動に取り組めるようにしてい

きましょう。

また、教師がよい動きを見付け、どんどんほめていくことで、子供の意欲を引き出し、動きを高めていくようにしていきます。

### お話をつなげてチャレンジしよう

へんしんチャレンジ

友達のお話に合わせて動きをつなげると面白いね!



ぶら〜んとぶら下がってる感じがおさるさんみたいだね!



### お話てつぼう (例)

- ① おさるさんがちょっと休けい1・2・3
- ② 力をぬいてぶら〜んぶらん
- ③ 友達見付けてうれしいね、くるっと回転

「楽しもう」で身に付けた動きから3つの動き(腕支持・振動・回転)を1つずつ選んでつなげていきます。苦手な子供は、同じ場から複数の動きを選んだり繰り返したりしてもよいなど、個に応じた支援をしていきましょう。

### <ポイント>

ペアの友達の言葉に合わせていろいろな動きに挑戦することで、楽しく動きを身に付けていくことができます。

### かかわり思考ツール お話てつぼう

子供に身に付けたい動きをお話でつなげていくことで、ペアでの関わりが生まれ、より楽しく運動に取り組めるようになります。例えば、上のように「さる」になりきるなどのお話を、子供たちと一緒につくっていきましょう。

授業を行う際には、地域の感染状況に応じて、以下の新型コロナウイルス感染症対策が考えられます。

- 決まったペアと取り組むこと
- 体の接触がないようにすること
- 授業前後の手洗いを徹底すること
- 活動中には不必要な大声を出さないようにすること
- 集合・整列時の子供の適切な距離を確保すること など

## 「ブクブク・プカプカランド」でレベルアップ!

～めざせブクブク・プカプカマスター!～  
水遊び

執筆：滋賀県大津市立志賀小学校教諭 森山大輔  
編集委員：国立教育政策研究所教育課程調査官 塩見英樹  
滋賀県大津市立瀬田東小学校校長 内藤康司

### 年間指導計画

- 4/5月 走・跳の運動遊び(走の運動遊び)  
器械・器具を使つての運動遊び(固定施設)
- 6/7月 器械・器具を使つての運動遊び(鉄棒)  
水遊び
- 8/9月 体つくりの運動遊び(体ほぐし)  
走・跳の運動遊び(跳の運動遊び)
- 10/11月 ゲーム(鬼遊び)  
器械・器具を使つての運動遊び(跳び箱)
- 12/1月 ゲーム(ボールゲーム)  
表現リズム遊び
- 2/3月 器械・器具を使つての運動遊び(マット)  
ゲーム(ボールゲーム)

### 授業づくりのポイント

二年生の「水遊び」では遊びや簡単な運動を通して、中学年の水泳運動の学習につなげていくことや、「水の中を移動する」「もぐる・浮く」などの基本的な動きを楽しみながら身に付けられることをめざします。単元前半では、「息を止めたり、吐いたりする感覚」

や「息を吸って止め、リラックスし体を浮かす感覚」を身に付けます。

単元後半では、さまざまな生き物や物に変身し、友達と「ブクブク・プカプカランド」で水遊びを楽しんでレベルアップをめざしましょう。

### 楽しもう ～ブクブクもぐったり、プカプカ浮いたりすることを楽しもう～

単元前半では、下のような壁や補助具につかまって水に浮いて遊んだり、水にもぐってじゃんけんをしたりするなど、いろいろな遊びを楽しめるようにします。また、水に慣れていない子供にとっては、水の中で鼻や口から息を出

すことに抵抗を感じる場合があるため、ポピングやバブリングを「ん～ん～ん～、パ!」のように口伴奏をつけて繰り返し練習するなど、安心して息を止めたり吐いたりしながら水遊びを楽しめるようにしていきましょう。

#### 学習①ブクブクもぐろう!

##### ●水中じゃんけん



##### ●ペアシーソー



##### ●トンネルくぐり



##### ●動物歩き



自然に顔がつけられるような遊びを取り入れましょう。

#### チャレンジ 動物お宝ひろい

動物歩きで時間内に、どちらが多くのお宝(石)を拾えるかを競争しましょう。



変身する動物を指定したり自分で決定したりして、どの動物がやりやすいかを考えられるとよいですね

#### 学習②プカプカ浮こう!

##### ●だるま浮き



##### ●ラッコ浮き



##### ●ふし浮き(壁)



##### ●ムササビ浮き



##### ●お化け浮き



友達や補助具に支えられることで、恐怖心をやわらげ、脱力した姿勢をつくることができます。



#### チャレンジ 引っ張り競争

ペアの人の手(補助具)を持って引っ張りましょう。いろいろな浮き方で引っ張ってみましょう。



「おへそを見てごらん」「プールの底を見てごらん」と声かけすることで、自然と顎を引くことができます。どの浮き方が進みやすいかな?

# 単元計画

単元前半は「もぐったり浮いたりする遊び」を楽しみ、後半は「ブクブカランド」で変身することを楽しみます。

時間	1・2	3・4	5・6	7・8	9・10
学習課題	きまりを守って安全に楽しもう!	「ブクブク」を高めよう!!	「ブカブカ」を高めよう!!	ブクブカランドの遊び方を知ろう!	ブクブカランドでレベルアップしよう!!
0分	集合・整列・準備体操・シャワー				
	水慣れ遊び (水かけ・顔付け・電車ごっこ・手つなぎ鬼 など)				
	<b>●オリエンテーション</b> ・集合、整列、あいさつ ・健康観察 ・人数の確認 (パディ) ・学習のきまりを確認 <b>●準備体操・シャワー</b> <b>●水慣れ遊び</b> ・水中かけっこ ・まねっこ遊び カニ・カンガルー カエル・ワニ など <b>●鬼遊び</b> ・手つなぎ鬼 ・ワニ鬼ごっこ ・顔つけ鬼ごっこ など <b>●まとめ</b> ・集合、整理体操、人数確認 (パディ)、シャワー	<b>学習①</b> ブクブくもぐろう! ・水中じゃんけん ・トンネルくぐり ・ペアシーソー ・動物歩き  <b>チャレンジ</b> ☆動物お宝ひろい! 動物に変身し、お宝を拾います。クラス対抗や、チーム対抗で行いましょう。	<b>学習②</b> ブカブカ浮こう! ・クラゲ浮き ・だるま浮き ・ムササビ浮き (大の字) ・お化け浮き  <b>チャレンジ</b> ☆引っぱり競争! ビート板を持ったペアを引っ張って競争しましょう。いろいろな浮き方でもやってみましょう。	<b>もぐる遊び・浮く遊び</b> 「ブクブク・ブカブカランド」の遊び方を知ろう!!  変身カードを使い、試しの遊びを行いましょう。	「ブクブク・ブカブカランド」でレベルアップし、「ブクブク・ブカブカマスター」になろう!  ペアやグループで繰り返し遊び、楽しんでレベルアップをめざしましょう。
	集合・整列・人数確認 (パディ)・整理体操・シャワー				
45分	運動を楽しもう			運動をもっと楽しもう	

※低学年では、「水遊び」の経験が少なく、水を怖がる子供がいることも想定しておくことが大切です。顔を洗ったり、シャワーを浴びたりすることをいねいに行うなど、怖さを克服できるように工夫していきましょう。また、プールサイドの歩行、入水のしかた、危険な行為、パディのチェックなどの「水遊びの心得」を十分に意識できるようにしましょう。

## もっと楽しもう ～「ブクブク・ブカブカランド」で楽しみながらレベルアップしよう!!～

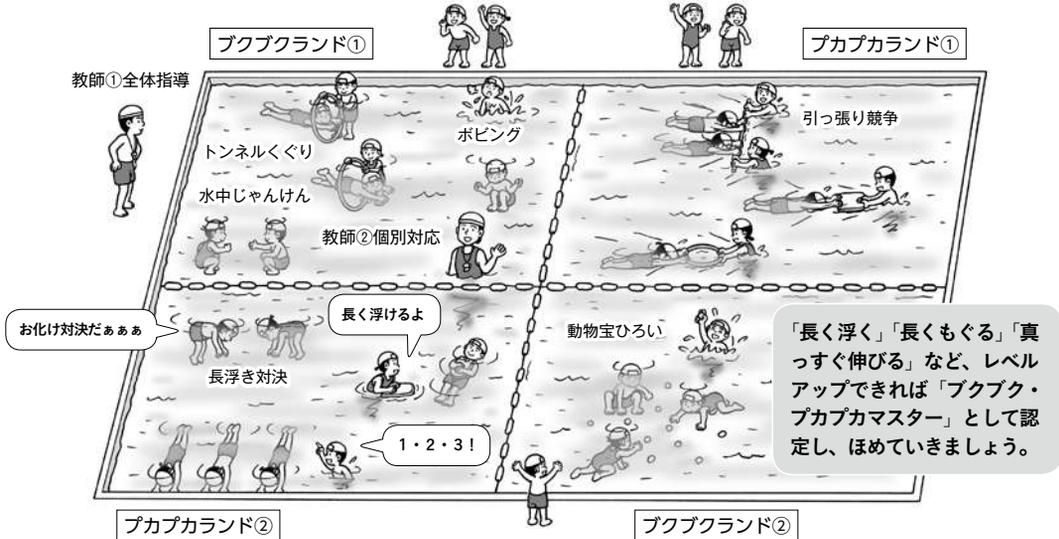
単元後半は、これまでの学習で身に付けたことをよりレベルアップしていくことをめざします。

下の絵のように、もぐる遊びの「ブクブカランド」と、浮く遊びの「ブカブカランド」に分け、各ランドのプ

ールサイドに「変身カード」を置いておきます。

ペアやグループの友達とカードを選び、出たカードの動物や物になりきって水遊びを楽しめるようにしましょう。

※教師の人数やプールの広さなどの環境に合わせて、各ランドを1つや2つの場に設定したり、時間を分けたりするのもよいでしょう。



「長く浮く」「長くもぐる」「真っすぐ伸びる」など、レベルアップできれば「ブクブク・ブカブカマスター」として認定し、ほめていきましょう。

### かわかり思考ツール 変身カード

カードの表面にはいろいろな動物や物のイラストを描いておき、裏面には「ブクブク・ブカブカマスター」のポイントを書いておきます。友達とカードを選んで、より活動を楽しんでレベルアップできるようにしましょう。



※新型コロナウイルス感染症対策として、上の図のようにプールを分割して密集状態を避けたり、活動の際には子供同士の距離を取ったりしましょう。